



令和5年(2023年)第24週 2023年6月12日(月)~2023年6月18日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



全国的にヘルパンギーナの報告数が増加しており、注意が必要です。丁寧な手洗いを心がけ感染予防につとめましょう。

●ヘルパンギーナについて

コクサッキーウイルスなどのエンテロウイルスの感染により、口の中の粘膜に小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。1~4歳くらいまでの乳幼児がかかりやすい夏風邪の代表的な病気の1つです。

◆どんな病気?

・**症状**……突然の発熱(38~39℃)に続いて、のどが赤く腫れて痛み、口の中の粘膜に直径1~2mmほどの小さな水疱ができます。水疱が破れて浅い潰瘍になると痛みを伴います。

・**潜伏期間**…2~4日程度

・**感染経路**…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。症状がなくなったあとも、2~4週間は便の中にウイルスが排泄されます。

・**流行期**……熊本市の過去5年間のデータでは、5月頃より増加し始め、8月頃にかけてピークとなり、秋ごろまで続く傾向があります。

◆かかったらどうすればいいの?

・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や心筋炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、脱水症状があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。

・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

◆予防法は?

・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。

こどものおむつを取り替えた後や、鼻水をとった後などは、しっかり手を洗いましょう。



定点 種別	期 間		2023年 23週		2023年 24週	
			6/5~6/11		6/12~6/18(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
C I O V I D E N - 1 9	インフルエンザ		112	4.48	36	1.44
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		151	6.04	139	5.56
小 児 科	RSウイルス感染症		24	1.50	28	1.75
	咽頭結膜熱(プール熱)		8	0.50	7	0.44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		15	0.94	14	0.88
	感染性胃腸炎		170	10.63	106	6.63
	水痘(みずぼうそう)		3	0.19	0	0.00
	手足口病		0	0.00	3	0.19
	伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
	突発性発しん		8	0.50	8	0.50
	ヘルパンギーナ	増加中	38	2.38	44	2.75
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	0	0.00
眼 科	急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)		1	0.25	1	0.20
基 幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00